



Title	平成8年度事業報告
Author(s)	
Citation	癌と人. 1997, 24, p. 44-45
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/23950
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

平成 8 年度事業報告

(財) 大 阪 癌 研 究 会

1. 一般学術研究助成について

本年度も癌に関する学術研究を奨励助成するため公募したところ全国から45名の応募者があった。

一般学術研究助成選衡委員会（委員長 濱岡利之大阪大学医学部教授他 4 委員で構成）で慎重に検討され、理事会で決定された助成対象者は下記のとおり12名であった。

2. がんの知識普及活動について

「癌と人」の会誌23号を刊行し配布した。また、癌の知識の普及活動にあらゆる面から鋭意努力した。

平成 8 年度「一般学術研究助成金」助成対象者

氏 名	所 属 機 関	研 究 テ ー マ
南 康 博	神 戸 大 学 医 学 部	血液・免疫系細胞のストレス応答、細胞死の過程における非受容体型チロシンキナーゼの機能解析
吉 田 幸 一	札幌医科大学 がん研究所	転写因子EIAFの発現とがんの浸潤・転移、予後との関連
三 宅 健 介	佐 賀 医 科 大 学	マウスB細胞表面分子RP105のシグナル伝達機構の解析
高 野 徹	大阪大学医学部 臨床検査診断学	甲状腺乳頭癌特異的遺伝子TP-2による甲状腺癌の遺伝子診断法の確率
吉 川 秀 樹	大阪府立 成人病センター 整形外科	骨形成因子（BMP）による骨軟部肉腫の鑑別診断及び治療法の開発
渋谷 彰	岡山大学医学部 寄生虫学講座	細胞傷害性リンパ球に新しく見いだされた接着分子DNAM-1のシグナル伝達機構の解析
吉 開 泰 信	名古屋大学医学部 病態制御研究施設	IL-15による新しい癌免疫療法の開発のための基礎的研究
藤 原 康 弘	広島大学医学部 附属病院 総合診療部	臨床分子薬理遺伝学による抗癌剤の効果・副作用予測システムの開発

氏 名	所 属 機 関	研 究 テ ー マ
田 中 誠 司	大 阪 大 学 微 生 物 病 研 究 所	真核細胞の細胞周期を制御するカイネース NIKIの解析
前 原 喜 彦	九 州 大 学 医 学 部	消化器癌における抗癌剤感受性を決定する 遺伝子的因子の同定
小 川 誠 司	東 京 大 学 医 学 部 附 属 病 院 第 三 内 科	染色体6P22領域に存在する新規癌抑制遺伝 子の同定とクローニング
石 川 秀 樹	大 阪 府 立 成 人 病 セ ン タ ー 研 究 所	食物繊維投与による大腸がん高危険群に対 する発癌予防研究 ― 腸管洗浄中CEA濃度を 代理指標とした検討 ―